

山陰・山陽スマート観光プロジェクト推進協議会

平成 26 年度事業計画（案）

山陰・山陽スマート観光プロジェクト推進協議会（以下「協議会」という。）は、外国人や高齢者に優しく若者を惹きつける最先端の観光情報インフラ（以下「スマート観光情報インフラ」という。）の整備等に取り組む自治体等を産学官の連携により支援することを目的とする山陰・山陽スマート観光プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を推進するため、平成 26 年度において、以下の事業を実施する。

- 1 スマート観光情報インフラ（コンテンツ、アプリ、端末、ネットワーク等）の整備
 - (1) コンテンツのリッチ化に対する支援・協力
 会員が実施するスマート観光情報インフラの整備に関し、コンテンツのリッチ化（動画充実、音声読み上げ、多言語化等）に対する支援・協力を行う。
 - (2) Wi-Fi ネットワークの整備に対する支援・協力
 会員が実施する Wi-Fi ネットワークの整備に関し、総務省の防災情報ステーション整備等事業と連携して、支援・協力をを行う。

- 2 スマート観光情報インフラ（コンテンツ、アプリ、端末、ネットワーク等）に関する実証実験・パイロット事業等の推進
 - (1) 会員からの提案に基づき、スマート観光情報インフラの技術、アイデア、事業化モデル等に関する実証実験・パイロット事業等を推進する。

- 3 プロジェクトの推進に係る広報・PR
 - (1) スマート観光体験バスツアーの実施
 スマート観光情報インフラの有効性等を広報・PR するため、先行的に整備された地域（出雲大社、石見银山等）を訪問するスマート観光体験バスツアーを実施する。

(2) セミナーの開催

協議会の取組及びその成果を報告するためのセミナーを開催する。

4 プロジェクトの推進に係る調査検討

※ 以下に限定せず、随時、必要な調査検討を行う。

(1) 観光アプリの共通プラットフォーム化に関する検討

各地域の観光アプリを1回のダウンロードにより利用可能とするような仕組み（方策）を検討する。